

表紙裏（新しき世界へ 1970 年 8 月号）

『こゝろ』が病気を治してくれるのです。この『こゝろ』の国に入らなければ病気もおらないし又一生健康で幸せに過ごす事も出来ないのです。前にも云った様に『こゝろ』は自由自在なのです。（神様なのです。絶体無限それ自体）なのですから、病気を治すと云う様な事は『こゝろ』（神）にとって何でも無い事です。「こゝろ」は「まこと」と云ってもよいし、道と云っても、行と云ってもよいのです。

食養では病気は食物から起ると云います。

それは実際ホントーです。然し、その食物を正しく取ると云うことは、『心』のはたらきなのです。『心』さへあれば、自然と正しい食物しか取りません。実際、病気や、肉体や、気質やを造るのは直接には食物です。食物なしに生きている事は出来ないのですから、これはホントーです。然し『心』のない人、心なし、心の命令を聞けない人、聞かない人、宇宙の秩序を見られない人は正しい食物を知らないのです。知る事が出来ないのです。この「こゝろ」や「まこと」や道、行、善、真、美など云うことを具体的に示し、自然に体得せしめる原理が無双原理です。

（食養人世読本より）

本文の複写、複製、転載、その他いかなる方法による使用の際には日本 CI 協会にご相談ください